

平成 27 年度 12 月定例会一般質問【質問通告（要旨）】**1 尾道市内に設置されている水門・樋門について**

- (1) 毎日開閉作業を行う必要のある水門や樋門の内、尾道市が主体となって管理している物はどのくらいあるか、また、広島県、あるいは、国において、管理されている物、尾道市が委任事務として行っている物はどのくらいあるか
- (2) 業務委託を受けている担当者が開閉作業を行えなかった場合、どのような不具合が発生するか、また、その場合、市民の生命や財産に影響があるか
- (3) 現在、担当されている方々が置かれている状況から鑑みて、今後、どのような課題が発生すると考えているか、あるいは、既に、課題が発生しているか

2 特定空き家への対応について

- (1) 「空き家等対策計画」の策定について、現在までの進捗状況並びに今後のスケジュール概要はどのようになっているか
- (2) 空き家の調査はどのような視点から行っているか、また、データベース化の具体案はどのようになっているか
- (3) 空き家の撤去に際して、補助等の施策をどのように考えているか

3 協働のまちづくりの観点から、シティクリーニングについて

- (1) 側溝の汚泥の除去や沿道の除草、また、河川の清掃など、作業量は減っていないが、高齢化により作業に携わる人手が減っている中で、どこまで自分たちの手で作業を行えば良いと考えているか
- (2) 作業を行わないことは、即ち、住環境の悪化を意味するが、そのことをどのように捉えているか、また、今後のシティクリーニングの方向性をどのように考えているか
- (3) 大河原川は勾配が少なく、土砂が堆積しやすい河川であり、また、川幅が狭いので草が生えると、一気に近隣の住環境が悪化するが、そのことに関してどのような考えを持っているか

4 協働のまちづくりの観点から、町内会活動の補助について

- (1) 町内会活動の補助について、どのような方針で見直しを行っていくのか
- (2) 町内会活動への世帯数による定率補助と合わせて、インセンティブとなるような上乘せの補助制度について、どのような考えを持っているか

5 生涯教育を推進する観点から、社会教育主事について

- (1) 社会教育主事の資格を持った職員は何人いるか、また、どういった部署に配属さ

平成 27 年 12 月 3 日

誠友会 柿本和彦

平成 27 年度 12 月定例会一般質問【質問通告（要旨）】

れているか

- (2) 社会教育主事の資格取得のための講座や研修を社会教育に役立てる考えはないか
- (3) 社会教育主事が学校現場に出て、家庭の教育力向上や地域の教育力復活に向けて取り組むことが、引いては、学校教育の充実につながると考えるか、どう思うか

6 地域とともにある学校づくりの推進について

- (1) 学力が低下している現状を考えた時、家庭教育や地域教育と学校教育との連携が取れていないという背景があるように思うが、どのように考えるか
- (2) 尾道市において、学校運営協議会制度の今後の展開をどのように考えているか

7 オンデマンド交通への取組みについて

- (1) 合併により広範囲となった行政区域において、それぞれの地域の実態に合った公共交通が必要だと思うが、どのように考えているか
- (2) オンデマンド交通は、どのような特色を持つ地域に適していると考えているか
- (3) 尾道市のような地理的条件や人が集まる施設などのロケーションが違っている地域において、オンデマンド交通を活用する際に留意する点をどのように捉えているか
- (4) 向島島内において、オンデマンド交通を社会実験してみる考えはないか